

日本海東北自動車道

あつみ温泉IC～鶴岡JCTが開通して
利用者の声「高速道路ができて便利になった」

日本海東北自動車道のあつみ温泉IC～鶴岡JCT間において、開通6ヶ月後の平成24年9月25日に交通状況の調査を行い、あわせてアンケート調査を実施し利用者の声を取りまとめましたのでお知らせします。

■交通量

地点名	交通量			摘要欄
	開通前 (H24. 3. 21)	開通1ヶ月後 (H24. 4. 23)	開通6ヶ月後 (H24. 9. 25)	
日本海東北自動車道(鶴岡JCT料金所)	—	900台/日	1,100台/日	有料区間
日本海東北自動車道(三瀬)	—	5,900台/日	6,200台/日	無料区間
国道7号(小波渡)	8,800台/日	5,100台/日	5,300台/日	

■開通6ヶ月間の整備効果(アンケート結果より)

- ・物流の効率性、安全性が向上
- ・日本海東北自動車道沿線における観光・レジャー活動が活発化
- ・地域住民の移動における速達性・快適性が向上

【 発表記者會：酒田記者クラブ、鶴岡記者會 】

問い合わせ先			
国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所			
調査第二課長	すずき ひさし 鈴木 久	TEL 0234-27-3331 (代表)	
東日本高速道路株式会社 東北支社 鶴岡管理事務所			
副所長	はらこ よしひろ 原子 義弘		
工務担当課長	たかはし たかし 高橋 隆	TEL 0235-22-8766 (代表) (受付時間 平日8:50～17:20)	

【開通6ヶ月後】日本海東北自動車道 あつみ温泉IC～鶴岡JCTが 開通して

(平成24年 3月24日開通)

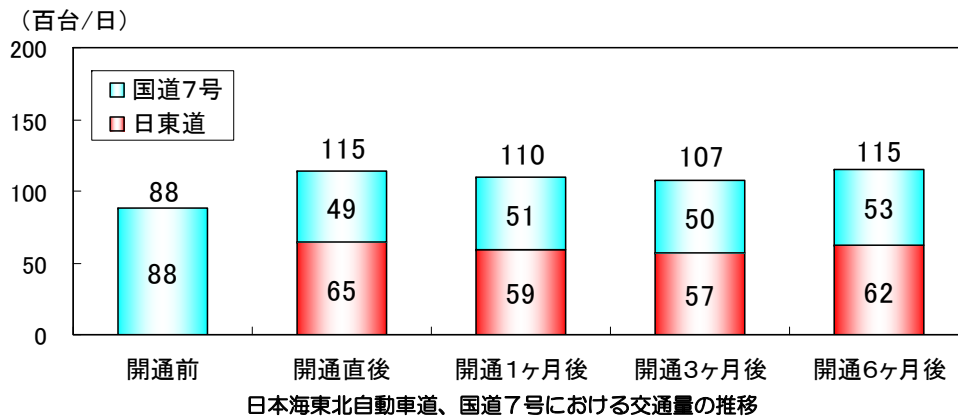
- ①物流の**効率性**、**安全性**が向上
- ②沿線における**観光・レジャー活動**が活発化
- ③地域住民の移動における**速達性・快適性**が向上



日本海東北自動車道の交通状況



■並行する国道7号の交通量が減少



開通前
国道7号 : 8,800台/日
高 速 : ー 台/日

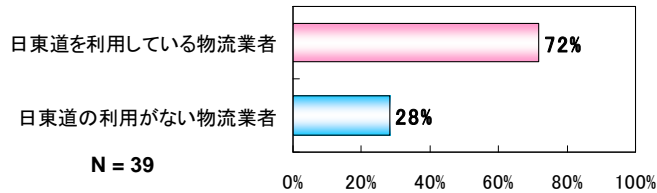
開通6ヶ月後
国道7号 : 5,300台/日
高 速 : 6,200台/日

事業期間 : 平成9年度～平成23年度
延長 : 25.8km
幅員 : 12.0m (暫定2車)

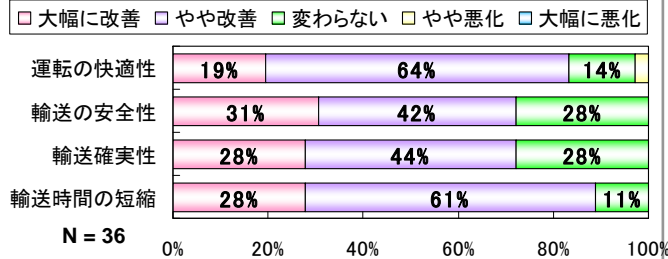
①物流の効率性、安全性が向上

【物流効率化】

○7割以上の物流会社が、日東道を利用



○物流面で様々な効果を実感



※いずれも、山形県沿岸部（鶴岡市方面）を通行する物流事業者を対象

○物流面での具体的な効果

- ・時間短縮により、**輸送コストを削減**することができた。
- ・**国道7号**においても、混雑時間帯の通行時間が短縮された。

○日東道を利用する上での問題・課題

- ・あつみ温泉ICから国道7号へ出る際、迂回が大きく、**時間の無駄**が生じる。
- ・早く、**朝日まほろばICと直結**してほしい。

(いずれも山形県内の物流業者アンケート結果より)

②日東道沿線における観光・レジャー活動が活発化

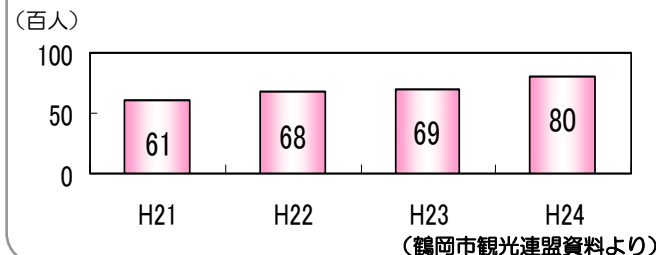
【観光活性化】

○日東道の利用による観光活性化



- ・今年、北陸方面からの観光客が多く、石川県のお客様は、「**高速道路ができて便利になった**」と話していた。
- ・「マリンパークねずがせき」では、福島や宮城、山形ナンバーの車が目立った。(観光協会ヒアリング結果より)

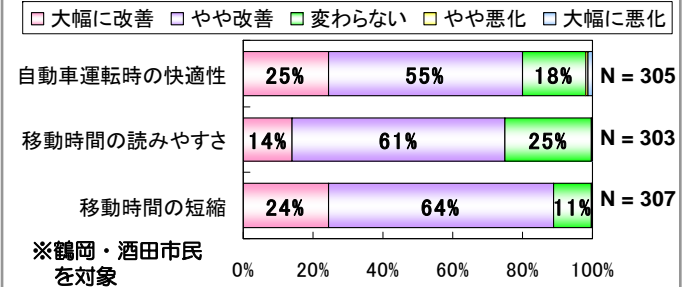
○マリンパークねずがせきの入込客数の推移



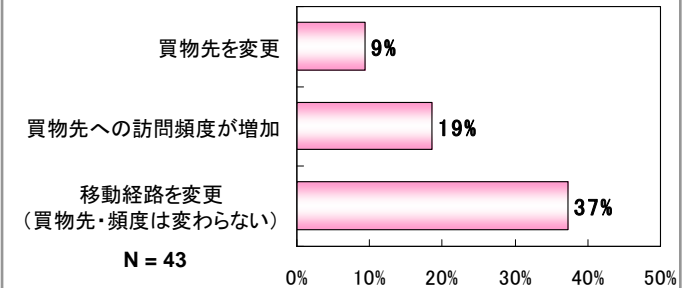
③地域住民の移動における速達性・快適性が向上

【生活利便性の向上】

○8割近くの人が速達性・快適性を実感



○新潟県・旧温海町⇄酒田・鶴岡市街の買物で、約6割の人が買物行動を変更



○買物行動での効果(生の声)

- ・旧温海町から、**仙台市や山形市が近くなった**ように感じられ、買物も行きやすい。
- ・旧温海町民にとって、**鶴岡方面での買物やレジャー**がしやすくなった。
- ・鶴岡市街に住んでいるが、**温海方面で買物**をする機会が増えた。

(いずれもWEBアンケート結果より)